

# 議会報告会報告書

開催日時	平成28年10月16日（日） 14時00分 ～ 15時30分	
開催場所	三浦市役所 議場	
報告対象者	三浦市在住の中学生と高校生	
出席議員	代表者	出口眞琴
	司会者	出口眞琴
	報告者	寺田一樹 ・ 布川照美
	記録者	長島満理子
	その他	岩野匡史議長 他8人の議員
参加人数	7人 他、傍聴5人	
報告会の概要	三浦市議会議長あいさつ 議会運営委員長より趣旨説明 三崎地区担当議員の紹介 1 共通テーマ 一年間に審議した議案の内容について 報告後、質疑応答 2 会場別テーマ 18歳選挙権について 報告後、質疑応答	

	参加者からの質疑等	議会の回答
報告に対する 質疑応答	<p>1. 一年間に審議した議案の内容について 質疑なし</p> <p>2. 18歳選挙権について</p> <p>①高校1年生でまだ選挙権がありません。有権者になり、誰に投票して良いかわからなくなった時、情報を得るためにテレビや演説以外にどういった方法で情報を得れば良いのでしょうか。</p> <p>②投票率の向上について（意見）</p> <p>（ア）若い世代に声かけしても限界、限度があると思います。60代の投票率が高いので年齢層の割合を同じにすれば20代の意見も反映されるのではないのでしょうか。現実的ではありませんが。</p> <p>（イ）投票率が低いのは、投票する人達に関心がないという理由もあると思います。</p> <p>（ウ）選挙は堅苦しいイメージしかありませんでした。若い世代の投票率を上げるには、そういったイメージがなくなるよう何か面白いことをすれば、軽い気持ちでも行ってみたくなるし、足を運べば考えるようになると思います。</p> <p>③その他（感想）</p> <p>（ア）初めて選挙に行きましたが、何を基準に考えれば良いのかわかりませんでした。先生の話聞き、両親にも話を聞き、テレビも見たりしました。政治にはどういう考えがあるのかを有権者になって初めて考えました。年齢が下がったことは若い人が政治について考えるきっかけ</p>	<p>1. 一年間に審議した議案の内容について 答弁なし</p> <p>2. 18歳選挙権について</p> <p>①学校の授業で公民、現代社会、政治経済で学ぶようになります。</p>

	<p>けを作っているの、良いことだと思います。</p> <p>(イ) 1月から選挙権を持ちます。選挙に興味はありませんでした。</p> <p>三浦市は駅前で演説していることが多いと思います。もっとアピールしてもらえると、18歳、19歳の投票率が上がるのではないかと思います。</p> <p>(ウ) 選挙に興味がありませんでしたが、投票の仕組みが分かってよかったです。</p> <p>3. その他</p> <p>①鉄火巻き大会をやめた理由は。</p> <p>②南下浦地区は三崎に比べて人が来ていません。南下浦地区も盛り上げて欲しい。</p>	<p>3. その他</p> <p>①雨の時は魚市場で、天気であれば商店街で開催していました。今度、魚市場が新しくなり、コンパクトになるとともに、高度衛生管理というシステムで冷蔵庫のような密閉式の市場になります。スペース的に非常に難しく、また高度衛生管理の施設なので催し物についてはできなくなります。</p> <p>来年は何をするかを協議し、鉄火巻きほどの規模で開催できるかどうかはわかりませんが、下町を中心に鉄火巻き大会に準ずるような、賑わいのあるイベントをやっていくための協議をスタートしています。</p> <p>②今は三崎、城ヶ島地区が注目されています。昔は南下浦地区も海水浴場も100軒の海の家が建ち、始発から大勢の人が来ていました。当時と同じような賑わいとなるかどうかはわかりませんが、そうしたいという思いで駅周辺や小松ヶ池公園周辺に桜を植えました。また、海水浴を盛り上げようと、砂浜を使ったビーチスポーツを活性化させています。三崎だけでなく、南下浦地区</p>
--	---	---

	<p>③初声町に住んでいます。カインズホームなどが出来て、以前より便利になりましたが、やはり近くにスーパーが欲しいです。市外に買い物に行かなくてもいいように・・・。</p> <p>④三浦市が消滅可能都市に挙がっていますが、策とかはあるのでしょうか。</p>	<p>も地元の皆さんと努力している最中です。食もマグロだけでなく、三浦野菜にも注目してもらえよう頑張っています。お友達を三浦に誘って、夏は海に誘ってみたり、言葉で三浦の良さを伝えてもらいたいです。また、SNSを使って三浦の良いところを伝えてもらいたいです。一緒に盛り上げていきましょう。</p> <p>③旧三崎高校の跡地に消防署が建てられ、その隣にベイシアというスーパーが来ることになっています。市民の生活が向上するように、皆さんの声を議会から市に届けていきたいです。</p> <p>④神奈川県内の市町村の中で三浦市が最初に消滅する要素があるとされています。市はそう思っていないですが、そういった評価をいただきました。そういうことがないように活性化させ、賑わいを作っていきます。</p> <p>下町、城ヶ島も活性化させていく中で、城ヶ島がミシュラングリーンガイドに選ばれ、油壺は真珠の養殖も始めました。地域の特徴を地域の人たちでなんとかしようという動きをしています。議会全体、市全体、国、県の力をもらいながら賑わいをつくり、発展させていく考えです。</p>
--	--	--

上記のとおり報告します。

平成28年11月17日

議会運営委員長 様

報告者 長島満理子

議会報告会の様子



- 三崎地区担当の班員
- 説明員（左側）
- 左から
- 布川照美議員
- 寺田一樹議員
- 長島満理子議員
- 司会（右側）
- 出口眞琴議員

○報告会会場の様子



○質疑応答の様子